

第3学年 国語科

「考えの進め方をとらえて、
科学読み物をしょうかいしよう」

① 授業の内容

生き物の「不思議・びっくり」を紹介する活動を通して、科学読み物の論の展開をとらえて読む力を育むことをねらいとした。説明的文章を読む力を身に付け、読書の世界を広げることで、ものの見方や考え方を深めることができると考えて本単元の内容を構成した。

③教材の工夫

科学読み物は、児童が論の展開を捉えながら内容をまとめられるものを厳選し、的確な指導・助言を基に要約できるようにした。また、単元の最初にモデル文を提示することで、明確なゴールを示し、主体的な活動を引き出すことができるようにした。



中学年 目指す児童像

相違点や良い点を見出し、
認め合いながら考えを深める子



②場の工夫

学び合いの効果を高めるため、交流をAとBの二つの場面に分けた。交流Aは読みを確認し「見直す」ため、交流Bは互いの良さを「認め合う」ためとしている。交流を段階的に設定することで、児童の活動がより活性化し、学びが深まるようにした。



④成果（児童の変容）

交流Aと交流Bの場を繰り返し設けることで、児童は自分の意見や考えを積極的に伝え合い、学び合う姿が見られた。また、モデル文を提示することで、相手に紹介するという目標に向かって主体的に活動することができた。